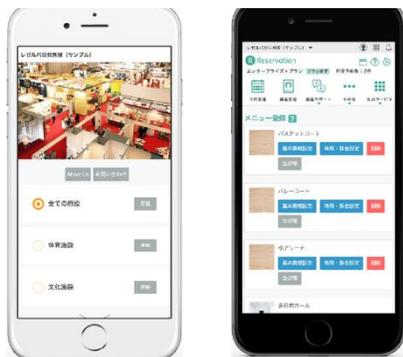


# 7月定例市長記者会見

# スマート交流館について

- ▶ 8月1日から5つの交流館で運用スタート！
- ▶ オンラインによる予約申請ができ、鍵の受渡しが必要のため  
事前に交流館に出向く必要なし！

## 予約システム



① スマホなどで予約

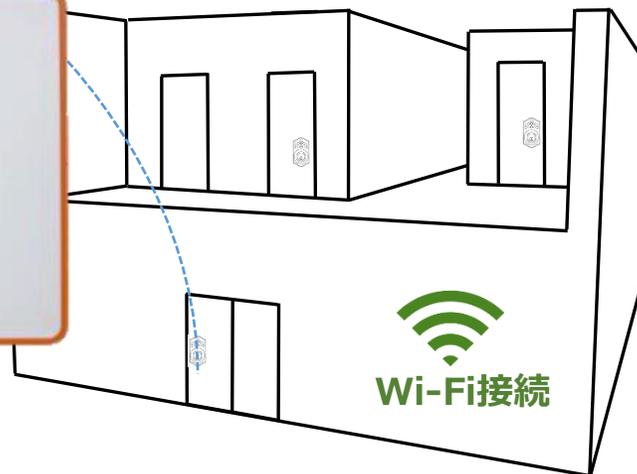
## スマートロック



連携



② 暗証番号で解錠



【8月運用スタート】

- ① 東交流館
- ② 伊勢丘交流館
- ③ 加茂交流館
- ④ 水呑交流館
- ⑤ 今津交流館

【今年度運用予定】

- ⑥ 西交流館
- ⑦ 駅家西交流館
- ⑧ 服部交流館

# スマート保育について

2021年度

2022年度

2023年度

2施設

7施設

加速化

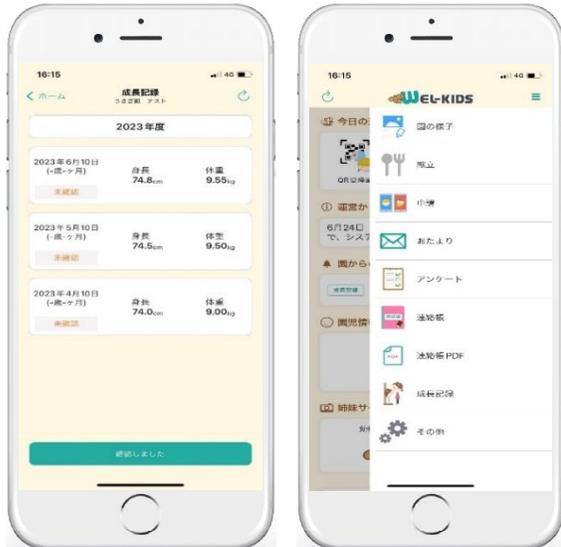
46施設  
全ての公立保育所・こども園に導入

## 保護者の声

- ・行事予定がスマホで確認でき便利になった。
- ・成長の記録がリアルタイムで見られるのでうれしい。
- ・紙のカードだと紛失する事があるので、スマホで全てを管理できてありがたい。

## 機能強化の充実

### ・成長記録の追加



### ・連絡帳機能の改善



## 保育士の声

- ・連絡帳を一人ずつ開いていたのが一覧で確認できるようになり便利になった。
- ・操作時間が短縮でき、朝の子どもとのあそびが充実してきている。

# 今後のデジタル化の推進について

市民に利便性を実感してもらえよう  
デジタル化を加速！

行政版デジタル化実行計画に基づき、  
最終年度の2024年度には



【スマート交流館】



【スマート保育】

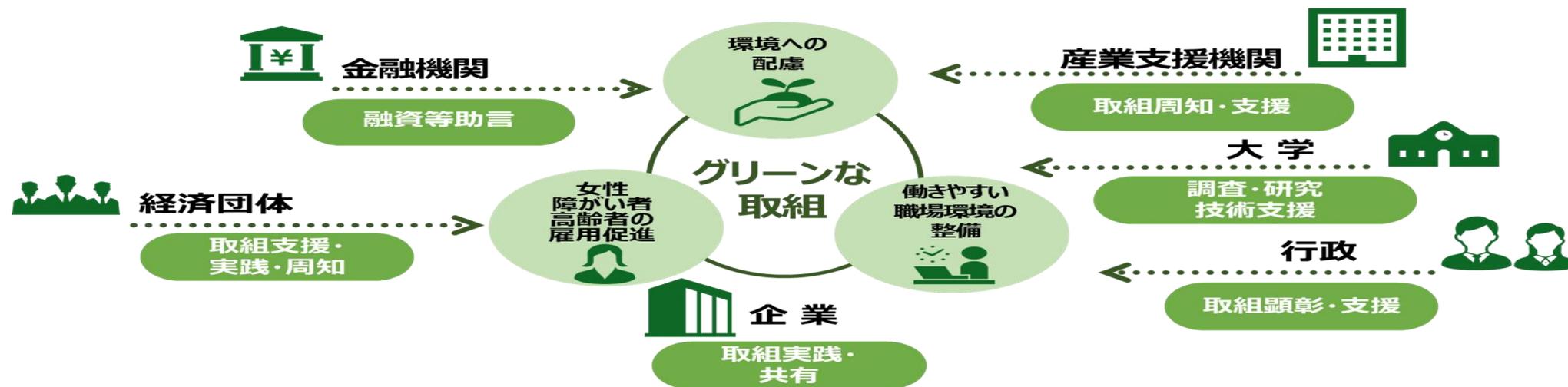
スマート交流館

運用状況を踏まえ拡大（全交流館に導入予定）

スマート保育

運用状況を踏まえ対象施設を拡大し、更なる機能充実を図る

# グリーンなものづくり企業プラットフォーム イメージ



【情報発信】



【実践】



グリーンなものづくり企業プラットフォーム

めざす姿

グリーンなものづくり企業の集積

取引拡大

人材の確保

技術力向上

# グリーンなものづくり企業プラットフォーム 構築検討会議の開催について



## ○内容

- ①国による取組事例紹介
- ②市内事業者による  
先進事例紹介
- ③意見交換

**官民連携で  
スタート**

## ○会議構成員

産業支援機関

(福山商工会議所, 商工会, ハローワーク福山等)

教育機関(市内大学)

金融機関

行政(国, 広島県, 福山市)

市内事業者(3社)

**構築検討会議  
による議論  
(産学官金)**

第1回 7月5日

第2回 9月(予定)

**プラットフォーム  
秋始動**

# 構築検討会議の論点①(取組項目・目標)

2023年度

20XX年度

## 20XX年度までの目標

### ●環境

例 グリーンランス  
フォーメーション (GX) の  
加速

例 温室効果ガスの削減  
(再生可能エネルギーの普及・  
省エネルギーの推進等) → ○○%削減

### ●雇用

例 幅広い人材の活躍

例 女性就業者の  
正規雇用割合 → ○○%以上

### ●働き方

例 多様な働き方の推進

例 男性の育児休業  
取得率 → ○○%以上

# 構築検討会議の論点②(取組の具体)

例

企業

CO2削減に向けた取組

SDGs型商品の開発

女性が働きやすい職場環境の整備

男性育休の取得促進

高年齢者の就業機会の確保

企業

産業支援機関

行政

先進的な取組内容の発信

企業

教育機関

地元企業との共同研究・共同開発

産業支援機関

教育機関

金融機関

行政

セミナーの開催

産業支援機関

企業

行政

イベントの開催

産業支援機関

金融機関

行政

相談対応など

金融機関

融資制度の創設

産・学・官・金が連携し推進

2023年  
7月3日

# こどもまんなか応援サポーター宣言

福山市はこども家庭庁が掲げる「こどもまんなか」の趣旨に賛同し

県内初

## こどもまんなか応援サポーター

として取り組みます

### 行政

こどもファスト・トラックや  
こどもの意見聴取・施策反映など  
「こどもまんなか」に取り組む  
ライフスタイル応援会議を中心に  
「こどもまんなか」の趣旨を周知

### 企業

父親の育児・家事促進  
(早期退社, 在宅ワーク等)など  
「こどもまんなか」に取り組む

### 市民 (福山アンバサダー等)

地域のこども・子育て世帯のため  
の施設や事業, 行事・イベントなど  
「こどもまんなか」の魅力を発見

行政・企業・市民それぞれが,  
SNSで「#こどもまんなかやってみた」をつけて発信



Road  
to  
2025

# 「ばらのまち福山」を盛り上げる提案を応援します！ 市民・企業提案型事業 募集のお知らせ

## ● 募集する事業



第20回 世界バラ会議福山大会  
ROSE EXPO FUKUYAMA 2025

新商品  
の開発



イベント等の  
実施



記念作品  
の制作



## ● 補助額

最大 **100万円**

(予算の範囲内)

## ● 募集期間

7月3日から10月31日まで

※応募には事前相談が必要(8月31日まで)

# 7月定例市長記者会見

# I-1 平成30年7月豪雨の浸水被害と教訓

## 福山市で観測史上最悪の豪雨を記録(72時間で392mm)

- 芦田川 計画高水位を超過（観測史上最高水位を更新）
- 県管理河川 破堤2河川，越水28河川（県内最多）
- 浸水面積 約2,000ha，床上浸水 約1,300棟（県内最大・最多）

### <教訓>

- 芦田川も絶対の安心はないことを認識した
- 県管理河川の流下能力が不足していた
- 水路や河川末端の排水機場が脆弱であった
- 市街地の内水排除機能が不足していた



浸水被害(福川流域[山手町])

# 1-2 抜本的な浸水対策

## 目 標

平成30年7月と同規模の豪雨でも床上浸水を発生させない

## 事業概要

2023年度(令和5年度)末までの5か年で **172**\* 事業を実施

※蔵王地区雨水ポンプ場のみ, 2025年度(令和7年度)末に完成予定

(国) 7事業 (県) 64事業 (市・土地改良区) 101事業



「100ミリ安心プラン」登録証伝達式

### 【国の新たな制度活用】

- 2019年(平成31年) 「大規模特定河川事業」創設, 採択(県)
- 2019年(令和元年) 「100ミリ安心プラン」登録(市) <中国地方初>
- 2020年(令和2年) 「事業間連携河川事業」採択(県, 市)
- 2020年(令和2年) 「事業間連携下水道事業」採択(市)

# 1-3 主要事業と効果（市内全域）

国土交通省



坊寺橋上流(駅家町)



法音寺橋

法音寺橋付近(草戸町)



芦田川大橋付近 施工状況

芦田川の土砂等の撤去  
**107,500 m<sup>3</sup>**  
(草戸～水呑区間 50cm掘り下げ)

広島県



令和5年度完成予定

拡幅

手城川 河川改修(引野町)

川幅 **1.2倍** に拡幅



令和3年度完成

古市排水ポンプ場(神辺町)

排水機能 **2.2倍** に増強



令和5年度完成予定

新設

(仮称)福川排水機場(神島町) ※イメージ

排水機能 **3.1倍** に増強

福山市



令和4年度完成

戸手ポンプ場(新市町)

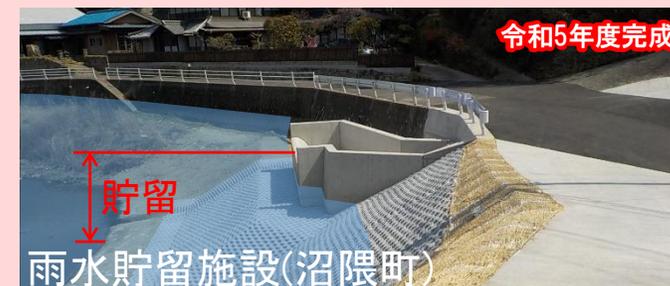
排水機能 **1.2倍** に増強



令和4年度完成

入江ポンプ場(松永町)

排水機能 **2.0倍** に増強



令和5年度完成

雨水貯留施設(沼隈町)

貯留量 **28,680 m<sup>3</sup>**  
(流域内のH30.7豪雨の雨量に対応)

# 1-4 主要事業と効果（手城川流域）



蔵王地区雨水幹線(市事業)  
※直径:1.2m~3m, 延長約3,200m



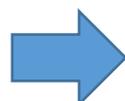
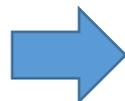
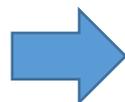
蔵王地区雨水ポンプ場(市事業)

## 平成30年7月豪雨の被害

浸水面積 約250ha

床上浸水 36戸

床下浸水 25戸



## 事業効果

約13ha (95%減少)

全て解消

9割解消

# II-1 平成30年7月豪雨のため池被害と教訓

- ・福山市のため池 約2,200箇所（県内3番目）
- ・豪雨による被害 決壊 7箇所（県内2番目），損壊 58箇所

## <教訓>

- ため池の管理者が把握できていないものがあった
- 農家数の減少や高齢化により，管理が十分でないものがあった
- ため池の存在やリスクが地域の住民に十分に知られていなかった
- 防災重点ため池の選定基準を満たしているが指定されていないものがあった



ため池の決壊  
(堂ノ奥池[草戸町])

# 11-2 ため池に関する法整備と福山市の取組

## ・新たな防災重点ため池の選定 (2018年(平成30年)11月~)

国による選定基準の見直し

防災重点ため池 175箇所 ⇒ 1,103箇所 【県・市】

## ・ため池管理保全法<sup>※1</sup> (2019年(令和元年)7月施行)

農業用ため池の管理者届出の義務化

全ての防災重点ため池が完了 【県・市】  
(届出済:961箇所, 管理者不在(廃止予定):142箇所)

ハザードマップ作成・周知の努力義務化

全ての防災重点ため池が作成・公表済 【市】  
(2022年(令和4年)6月)

## ・ため池工事特措法<sup>※2</sup> (2020年(令和2年)10月施行)

防災重点ため池の診断や防災工事の推進  
(防災工事:劣化対策, 豪雨対策, 耐震対策, 廃止の工事)

<診断> 【県】  
・劣化・豪雨 535箇所完了(約6割) ※今年度中に全て完了予定  
・耐震 178箇所完了(約2割)  
<防災工事> 【県・市】  
・豪雨対策 24箇所完了 ・耐震対策 2箇所完了  
・廃止 19箇所完了

※1 農業用ため池の管理及び保全に関する法律

※2 防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法

# III 災害に強い森づくり事業(森林整備)

○2014年(平成26年)の広島市の土砂災害を教訓に  
土砂災害防止法が改正され, 県が「土砂災害警戒区域等」の指定を加速

➡ 市内 3, 668箇所 [2023年(令和5年)1月26日現在]

○2019年度(令和元年度)山地災害防止などを目的とし, 国が森林環境譲与税を創設

○2021年度(令和3年度)から森林環境譲与税を活用し,  
土砂災害警戒区域内の間伐等を行う森林整備事業に着手

・2021年度(令和3年度) 植生調査の実施

【森林整備(試行的に2年間)】

・2022年度(令和4年度)

合計4.0ha (加茂町, 芦田町, 神辺町)

・2023年度(令和5年度)

新たな整備区域を選定中

○今後の方向性

今年度末までに間伐方法や整備順序の考え方を盛り込んだ  
「災害に強い森づくり基本方針」をとりまとめ, 来年度から事業拡大

県内初の  
取組

○整備対象区域



土砂災害警戒区域(赤枠内)

森林整備区域(黄枠内)



整備前



整備後